

色麻町

伝説「小栗山の七不思議」

小栗山の七不思議

小栗山地区に伝わる伝説で、「女石」^{おなごいし}、「男石」^{おどごいし}、「団子石」、「立石」、「涙石」、「礫石」^{つぶていし}、「血の池」の7つで構成されています。7つのうち6つは石にまつわる伝説です。本町にも伝説は数々残っていますが、小栗山の七不思議のように一地域にまとまって残り、「風土記」にも記述があることは珍しいとされます。

ここでは、そのうち2つの伝説を紹介いたします。

「女石」は約3メートルの大石で、中央に割れ目があり、その割れ目に白い鶏を入れ放つと加美町小野田の旭館(石神)から出てくると言い伝えられています。

「礫石」は、大男として有名な朝日奈三郎が、川を隔てた向山から蝦夷にぶつけた石だと言われられています。



女石